



ニュース発行からほぼ 45 年

初代わかば会会長・前理事長 江川智男

無認可のわかば保育園が開園したのは 1965 年 6 月、松本昭子初代園長宅でした。(一昨年 50 周年のつどいを行う) その後保育要求が増え手狭になった松本宅を引っ越す事になり、73 年夏父母 OB による「わかば保育園後援会」を結成し、移転設置の取り組みを開始。

独立園舎設置「設置委員会」の発足に伴って「後援会ニュース」の発行が開始されました。そして、74 年 3 月上倉田園舎「お山のわかば」へ引越。独立園舎設置後も、無認可保育所ゆえの度重なる運営危機に見舞われ、何としても「認可保育所」の設置を目指そうという取り組み・運動へと広がり、認可保育所建設の取り組みを知らせる「後援会ニュース」は卒園児父母にも郵送され、支援の輪が大きく広がり、ついに 78 年 5 月わかば保育園現在地への認可の内示があり、79 年 4 月開園へとこぎつけました。ニュースのタイトルは、わかば開園後 79 年 7 月から「わかば会ニュース」となり、さらに 05 年 4 月、新杉田のびのび保育園開園後の 06 年 10 月からは現在の「あらぐさ会ニュース」となりのびのび保育園 OB も含めた父母・職員にも配布・郵送され、2015 年 4 月からは笹下保育園父母・職員にも届けるようになりました。わかばから始まった後援会としてのニュースはその位置付けや主旨が無くなった現況を受け、今回 6 月から法人あらぐさ会が発行するニュースとして皆さんにお届けする事になりましたので、今後もお付き合いよろしくお願ひ致します。



あらぐさ魂の応援団として

わかば会・あらぐさ会会長 落合 一郎

今年 4 1 歳になる次男が小学校に上がる前の 7 か月間だけお世話になったわかば保育園に一家ではまった。こどもの成長に責任を持つ、憲法と児童憲章によって立つ園の姿勢。卒園式に典型である。それが今や社会福祉法人あらぐさ会として新杉田のびのびと笹下も加えた 3 園で展開されているという。応援し甲斐があるご時世だ、ほっとけば大企業の利益のターゲットになる。わかばは新しい日本の子育ての揺籃となる。応援すべし!



お知らせとお願い

◎このコーナーは、保護者の皆さん、OB の皆さんの交流のコーナーです。大きくなったお子さんのこと、子育てのこと、面白かったこと、また、ニュースの感想や、皆さんにお知らせしたいことなど、なんでも結構です。ぜひお寄せ下さい。(ただし、次回発行予定は 10 月初めごろです。)

◎お知り合いで、転居や住居表示の変更で、あらぐさ会ニュースが届いていない・・・という方がいらしたら、ご一報下さるようお伝えください。

法人本部の電話/Fax の番号は 0 4 5-4 4 3-5 5 6 4 です。よろしくお願ひします!



社会福祉法人あらぐさ会／わかば保育園・新杉田のびのび保育園・笹下保育園
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町 992 番地 Tel/Fax 045-443-5564
あらぐさ会ホームページ <http://www.aragusakai.sakura.ne.jp/>

2018年6月号

ごあいさつ

今年度も早いもので 3 か月が過ぎようとしています。皆さん、お元気ですか!

一昨年、「社会福祉法人法」が改定されました。全国で社会福祉法人の不祥事が相次ぎ、その綱紀粛正をはかるため、①すべての社会福祉法人に評議員を置き、法人業務が適切に執行されているかを監督する。②理事会は、執行機関として、理事長等の職務を監視する。③監事は理事の職務執行を監査することになりました。という物々しい感じがしますが、要は、子どもたちのために適切な保育運営を行うことを、それぞれの立場で尊重し大切にするか、だと私たちは考えています。

それには、日々行われている保育や子どもたちの様子・思いをできるだけ多くの皆さんに知っていただくことが、何より大切ではないかと、思い切ってあらぐさ会ニュースの紙面を拡大することにしました。

OB の皆さんには、それぞれの保育園を「実家」のように、いつでも「ただいま!」と顔を出していただけるように、また、在園の皆さんには、同じ法人の姉妹園として交流の場となるようにと願っています。

今年から「保育所保育指針」が新たになりました。その内容をめぐって、様々な議論が巻き起こっています。待機児問題も保育士不足も、なかなか解決する様子が見られません。

でも、子どもたちはとっても元気です! そんな姿が日々みられる保育という仕事は、とても幸せだと日々思っています。

自然の異変や異常気象が地球規模で起きています。どうぞ皆様、ご自愛ください。

社会福祉法人あらぐさ会 理事長 辻村久江

